当日緊急カテーテル治療を受ける患者さんへ　　【患者さん用クリニカルパス】

ID:　　患者氏名:　　様

経過	経皮的冠動脈形成術当日（治療前）	経皮的冠動脈形成術当日（治療後）	入院2日目	退院日
日付	月　日（　）		月　日（　）	月　日（　）
目標	治療の内容が理解でき、検査を受けることができる。	予定通りに治療が終了することができる。	合併症状出現時に意思表出ができる。	退院指導の内容がわかる。
説明 指導 教育	・医師より治療の説明を行います。説明後、承諾書を記入して提出してください。 ・看護師が入院生活および治療のオリエンテーションを行います。 ・医師・看護師の説明でわからないことがあれば何でもお話ください。 ・治療中ご家族の方は病棟で待機してください。	・医師から治療結果について説明があります。 ・治療した手首は強く曲げたり、力を入れたり、こすったりしないで下さい。 ・患者さんと面会されましたら、ご家族の方は帰宅可能となります。	・医師から検査の経過と今後の内服薬などについて説明あります（治療直後に行うこともあります）。	・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮無くお聞き下さい。 ・退院前に紹介状や再来予約があれば説明をします。
治療 処置	・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 ・手首の動脈（正中・橈骨）の拍動を観察し印をつけます。 ・治療に必要な部位（橈骨または大腿）を必要時除毛します。 ・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。 ・1時間前に手首の表面を麻酔するためのテープを貼ります。 ・治療前から点滴を行うことがあります。	・医師の指示で点滴を継続します。 ・4回目の空気を抜いた2時間後に手首に巻いてあるバンドを外します。 ・治療後に採血と心電図を行います。 ・点滴終了後、針は留置したままとします。	・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。 ・症状がなければ、点滴の留置針を抜去します。	
検査	・医師の指示で採血や心電図の検査を行うことがあります。		・治療翌日の検査として、採血と心電図を行います。	
生活 行動	・身体付属品（義歯、補聴器、コンタクトレンズ、指輪、ピアス、かつら、つけまつ毛、ジェルネイル）の除去をお願いします。 また化粧をしている場合は化粧も落としてもらいます。 ・車椅子かベッドで1階のカテーテル検査室へ行きます。	・治療後はベット上で安静にして下さい。 ・治療後は、トイレまで歩くことができます。 （足の付け根から行った場合は、6時間後になります） ・手首のバンドを外したら、自由に歩くことができます。	・医師の指示で安静度の制限がなければ病棟内歩行が可能になります。	
清潔	・心臓への負担をかけないようにシャワー浴ではなく身体拭きで対応します。		・傷の状態に異常がなければシャワー浴ができます。	
食事	・治療食（カロリー・塩分制限食）となります。 ・水分に制限はありません。	・治療後、吐き気がなければ飲水・食事をすることができます。		
内服薬	・今まで飲んでいた薬を変更することがあります。			・退院時内服処方が必要に応じて処方されます。
観察	・心電図モニターを装着し、胸部症状の変化を観察します。いつもと違う感じがある時はベッドに横になりナースコールを押して下さい。必要時は心電図検査をします。	・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 ・心電図の変化がみられないか検査をします。 ・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。	・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 ・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 ・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。	
その他		・治療終了後、造影剤を早く排泄するために、水分（水・お茶）を多めに摂りましょう。		
備考				

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
循環器内科